

主な掲載内容

- 第2回定例会を開催…………… 1面
- 永年在職議員表彰…………… 1面
- 区政をさく(代表質問)…………… 2~3面
- 区政をさく(一般質問)…………… 4~5面
- 区長あいさつ…………… 5面
- 第2回定例会で決まった議案…………… 6面
- 第2回定例会の請願・陳情の結果…………… 6面
- 第3回定例会の予定…………… 6面
- 特別委員会中間報告(要旨)…………… 7面
- 議場の略図と議席…………… 8面
- 第10回平和祈念コンサート…………… 8面

発行＝大田区議会  
 住所 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号  
 電話 03-5744-1474 (直通)  
 ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

第2回定例会の内容

[6月]

|     |                   |                               |
|-----|-------------------|-------------------------------|
| 4日  | 本会議第1日            | 代表質問                          |
| 7日  | 本会議第2日            | 一般質問、永年在職議員表彰、議案の付託等          |
| 8日  | 常任委員会             | 総務財政、地域・産業、保健福祉、都市・環境、こども文教   |
| 9日  | 常任委員会             | 総務財政、地域・産業、保健福祉、都市・環境、こども文教   |
| 10日 | 議会運営委員会           |                               |
| 11日 | 特別委員会             | 開発・観光対策、交通問題調査、羽田空港対策、防災・安全対策 |
| 15日 | 議会運営委員会<br>本会議第3日 | 議案の採決等                        |

# プレミアム付商品券 販売補助を可決

## 一般会計補正予算(第1次)などを審議

大田区議会は、平成22年第2回定例会を6月4日から15日までの12日間の会期で開きました。

本会議第1日には、区長あいさつの後、4名の議員が各会派を代表して質問を行い、第2日には9名の議員が一般質問を行いました(2~5面に要旨を掲載)。

この定例会には、平成22年度一般会計補正予算(第1次)のほか、大田区多文化共生推進センター条例をはじめとする条例案10件、土地の取得1件、契約の締結3件、契約の変更1件、土地の収用に係る和解1件、報告7件、人権擁護委員候補者の推薦1件の各議案が提出されました。審議の結果、議決を要さない報告7件を除くすべての議案について、原案どおり可決しました(6面に定例会で決まった議案を掲載)。

請願・陳情は審議の結果、採択1件、不採択3件、そのほかは継続審査となりました(6面に請願・陳情の結果を掲載)。

大田区議会は、6月7日の本会議において、区議会議員として在職25年間、区民福祉の向上と区政の発展に尽力された功績に対し、田中一吉議員を表彰しました。



表彰 永年在職議員



【東糺谷防災公園(所在:東糺谷四丁目5番1号、愛称:わくわくランド)】  
 平成22年4月に一部供用開始。約28ヘクタールという広大な面積を有し、災害用の設備、多目的広場、ピオトープ池などが整備され、地域の憩いの場として親しまれている。平成23年4月全面供用開始予定。



ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/

# 区政をきく

## 代表質問

### 区民の期待に応える 財政運営を

自由民主党大田区民連合 大森 昭彦



#### 【京急線連立体交差事業】

京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

#### 【京急線連立体交差事業】

京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

#### 【京急線連立体交差事業】

京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

#### 【京急線連立体交差事業】

京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

#### 【京急線連立体交差事業】

京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

#### 【京急線連立体交差事業】

京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、



中国大連市で平成22年5月12～14日に開催された大連国際工業博覧会に大田区からも出展

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

【京急線連立体交差事業】 京急蒲田駅を通過する新工号ホーム快特について、度重なる抗議に対し、京浜急行電鉄は「沿線価値の一段の向上に貢献する」と回答しているが、区長の見解は、

大田区立特別養護老人ホームたまがわ（所在：下丸子四丁目23番1号）でつくる利用者のみなさん

### 国政の防波堤として 区民の暮らしを守る区政へ

日本共産党大田区議員 菅谷 郁恵



#### 【平和のために積極的に行動を】

【平和のために積極的に行動を】 平和市長会議に加盟した区長は、7月27日市の「2020核廃絶広島会議」に参加するなど、平和の先頭に立つべき。

#### 【安全対策は社会的責任を果たす】

【安全対策は社会的責任を果たす】 京急は、京浜工業地帯で働く労働者の通勤を支え、利用者、地域住民の協力で発展してきた。京急蒲田駅に止まるべきである。また、安全安心のため各駅にホームドア、ホーム柵の設置を求めるべき。

#### 【30人学級実現による教育】

【30人学級実現による教育】 現在、区では教室の確保が難しいため、柔軟に対応できるチームティーチング等で加配教員を活用しているが、23年度以降の制度が不明である。都等の動向を見極め、対応していきたいと考えている。

#### 【児童福祉法第24条は、保育に欠ける子どもは自治体の責任で措置】

【児童福祉法第24条は、保育に欠ける子どもは自治体の責任で措置】 自治体の役割は一人の待機児童も出さないことではないのか。

#### 【地域主権改革は国の責任放棄】

【地域主権改革は国の責任放棄】 二般財源化による地方交付金削減が予想される。国民生活の最低基準にかかわる問題を国が放棄するもので、区は国に対し、意見をあげるべき。

#### 【安心して暮らすこと】

【安心して暮らすこと】 地域社会の役割と同様に、都市基盤整備も区の将来を見据えた重要な事業であり、しっかりと推進する。

#### 【必要箇所】

【必要箇所】 必要箇所は、保育に欠ける子どもは自治体の責任で措置、自治体の役割は一人の待機児童も出さないことではないのか。

【必要箇所】 必要箇所は、保育に欠ける子どもは自治体の責任で措置、自治体の役割は一人の待機児童も出さないことではないのか。



大田区立特別養護老人ホームたまがわ（所在：下丸子四丁目23番1号）でつくる利用者のみなさん







ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

# 区政をきく 一般質問

## 大田区議会公明党 丸山 かよ

### 公共施設の整備と活用

現在、おおた未来プラン10年や個別計画で、整備を計画している公共施設数と、新規事業のために必要となる施設数は、整備を計画している施設は、改築や既存施設の活用を含め22施設あり、新規事業の施設として整備するものは、10施設である。

**施設整備の目的・費用対効果等に加え、区の人口構成や将来需要を含めた分析を行い、施設のあり方を考えるべき。**

具体的な取組項目として施設のあり方の検討を掲げている。現在、将来人口推計等の分析を行い、23年度の方針策定を目指している。

**施設建設の用地購入の考え方は、当該用地が事業実施のために必要な条件を備えているか、施設の隣地の場合は、将来、施設の充実に期待できるかを、総合的に判断して購入を決定している。**

中小学校は、子どもたちの学びの場であり、地域の核として欠かせない公共施設である。優先的に中小学校の改築に取り組むべき。

おおた未来プラン10年では、中小学校のほか、保育園や高齢者施設、障害者施設など、重要な施設の改築を計画している。中小学校の校舎、体育館は、必要な耐震改修は完了しており、当面の安全は確保している。

校の改築の際には諸条件を考慮しながら複合化に取り組む。

羽田旭町の創業支援施設や「こらば大森」を他施設に移転し、小中学校改築時の代替校舎としては、**用地の確保や、代替校舎には多額の経費がかかるので、有力な選択肢のひとつであるが課題がある。今後、十分に検討していきたい。**

**「小中連携と小中一貫教育」**  
区の小中連携は何を目指し、その成果や効果はどうか。

区が目指す小中一貫教育は、小中一貫校ではなく、一貫性のある学習指導や児童・生徒指導、キャリア教育等を行うこと。成果は小中の連携していく意識が高まったこと、互いの教育への理解が深まったこと、小中の児童・生徒間の交流が盛んになったこと等である。

今後小中一貫校、小中一貫教育の積極的実施が必要では。

これまでの小中連携教育の成果を踏まえ、区における小中一貫教育の指針を示し、推進すべき。

小中一貫校は区長のマニフェストだが、区の小中連携、小中一貫教育をどのように評価しているか。現在、教育委員会が小中連携の成果と課題を踏まえ、小中一貫教育の方針を策定中である。その方針の着実な実施が、マニフェストの実現につながる。

高齢者の住宅確保支援策

大田区議会公明党 岡元 由美

高齢者の住宅確保支援策「ワンシニア」及び高齢者アパートの直近の入居者募集倍率は、**ワンシニア**が21年6月は約43倍、高齢者アパート19年6月は約32倍、今までも住んでいる地に建替えられたマンションを区が借上げ、高齢者アパートとして提供しては、**安全面等に配慮したワンシニア**の設置を優先している。

入宅困難度の基準は何か。

立ち退きを求められているか、収入に占める家賃の割合の高さ、居室面積、設備の有無、住環境が劣悪であるか、建物の老朽化による危険性があるか等の項目から総合的に判断している。

高齢者の住まいの探し方の協力不動産店紹介の現状と、取組みは、**21年度中の相談・照会数は36件**、うち住まいの確保が15件。今後は、連携を深め、さらに成果をあげる方策を検討する。

自身身のない高齢者に、行政が責任を確保する制度をつくることで、住まいの確保ができるのでは。

個別の事例において、考え方や経済状況等が異なるため、一概に住まい確保の制度を構築することは難しい。

**ひとり暮らし高齢者登録**  
65歳以上で、歩いて5分以内に親族がいなどの条件から、3親等親族の範囲や取扱いを早急に見直す。

個々の実情に合わせて、本人や家族の希望に沿った登録推進を、**地域での見守りや支援に密接に**つながるよう、本人や家族の希望等を踏まえ、適切に見直す。

**「ゆづりくらぶ」のトイレ整備**  
完全洋式の暖かい便座にすべきだが、実情及び整備計画は、**整備率は約74%**。今後は、利用者の要望を伺い対応する。

**「発達支援の充実」**  
21年度、区立保育園では要支援認定児が約80人。また認定児に至らないが、配慮の必要も見られる**早期発見・療育にはどのようなことが有効と考えるか。**

幼稚園や保育園の職員の子どもに対する観察力と、発達障害に

に対する知識・理解を備えていることが大切であり、巡回相談等で専門家の指導・助言を受けている。

**「小中学校の給食費未納問題」**  
給食費未納のうち、給食費は学校に直接支払われるべき。

学校長判断で、就学援助費等を学校長口座に振込み、未納分を差引き、保護者の口座に振込むことができる。保護者から同意を得ることが前提だが、取組みを強める**給食費の督促は、誰がどのように行っているのか。**

教員や事務職員、必要に応じて学校長や副校長も積極的に対応している。今後、就学援助費等からの徴収や校務を支援する学校運営システムの導入を準備している。

自由民主党大田区民連合 岸田 哲治

**区内中小企業の海外進出支援**  
各国の商慣習や考え方、税制の違いなど様々な問題がある。区の支援が必要と考えるが、**企業活動は大変難しい課題を抱えていると認識している。区として情報提供や支援を進める。**

海外進出にかかる最新の情報を正確に提供する体制をつくるべき。

22年度から海外事業担当の専門職員を5名配置し海外取引支援体制の強化を図っている。

インドは魅力的な市場であると考え、**どのように関係を築くか**など、インド現地展開は時期尚早と考える。一方、ASEANとインドはFTA（自由貿易協定）を結んでおり、タイからインド市場を開拓する企業が多い。産業振興協会のタイ・ASEAN市場展開の事業強化が区内中小企業のアジア展開に有効と考えている。

海外進出支援と市場開拓支援の

現状と今後の方向性を伺う。

タイのオオタ・テクノ・パークには大田区企業が6社入居し、好調な業績をあげている。今後とも展示会や企業マッチング等を通じて取引拡大を支援する。

ASEAN諸国の経済成長に伴い、**各国に合った関係性を構築していくべきでは。**

ベトナムは日系企業を調査し、シンガポール、マレーシアは、国の経済機関と連携協力を進めている。タイを展開かとして区内企業のアジア展開を推進する。

**「生産を拡大強化し雇用確保」**  
区内企業は生産縮小・撤退を余儀無くされている。区内産業の育成と働く場所の確保をどのように考えているのか。

高付加価値の生産や開発部門を区内に残し、中小企業の経営力を高め、企業立地生産性向上を支援する。また、医療、福祉、環境などの新事業分野への進出を支援し、雇用機会を確保する。

**「区内技術を世界へ継承する支援」**  
区は世界一の技術を引継ぐ後継者をどのように支援しているのか。

22年度から、次世代もつくり人材育成事業として、次世代人材育成のプロジェクトを公募、選考し、支援する。

**「区企業の海外PRを」**  
海外PRするツールをさらに支援すべき。

22年度から中国向けのサイトを開設し、企業PRと取引先開拓の支援事業を実施する。

自由民主党大田区民連合 鈴木 康文

**「青少年の健全育成」**  
羽田空港の国際化、24時間ハブ空港化に伴い、諸外国から多くの来訪者が予想される。薬物犯罪が身近な問題となる中で、**早期の段階で薬物の危険性について指導すべきである。大森第四小学校では6年生を対象に、税関の小学生を通して薬物の恐ろしさを学ぶ授業が行われた。健全な子どもを育成するために、区内全校での実施を要望する。**

早期に薬物の恐ろしさを教えることは、犯罪防止の観点から重要と考える。22年度は、警察職員や学校薬剤師等を講師として、薬物乱用防止教室を全校で実施する。今後は、様々な場面をとりこめて指導・教育する。

**「羽田空港駅通過による影響」**  
羽田空港への玄関口ともいえる京急蒲田駅に、新エアポート快特が停車しないことが広く知れ渡り、大田区の印象が損なわれたと考えられている。

イメージを払しょくし、回復する対策はあるか。

今後のまよまよぶりにおいて、重要な核となる京急蒲田駅が、新エアポート快特の通過駅となることは容認できるものではない。区、京急、都、国による協議の場を設け、蒲田周辺のまちづくりにおける諸課題の解決に向け協議を進めるとし、新エアポート快特停車を粘り強く交渉する。

**「住み続けたいまち・大田区」**  
出生率が停滞し、今後人口が減少する中で、自治体では都市間人口争奪戦が行われている。住民の減少は、税収減、区民サービス低下を招くおそれがある。今後の先行きが不透明な中で、人口流出を食い止める、安定した区政運営を継続する施策を伺う。

おおた未来プラン10年は、あらゆる世代にとって、魅力あるまちを実現するための施策を総合的に体系的に示している。プランの着実な実現が、住みやすいまち、住み続けたいまちにつながるかと確認してみたい。財政状況の中でも、区民に必要なサービスには予算措置を行うなど、メリハリのきいた区政運営に努める。

**「外国人観光客の誘致」**  
羽田空港の国際化を目前に、区は様々なイベントPR事業を展開しているが、観光客誘致に向けて調査は行われているのか。諸外国

の分析を行い、各々の国民性に合った情報を発信している。

大田区観光振興プランで、訪日外国人を個人、団体、来訪客、乗継客に分け、対応策を明示している。羽田空港乗継客には、短時間で日本を体験できるオプションを提供し、東京への訪問者には、他の場所にはない体験を提供する。地域全体で、来訪客へのおもてなしの意識向上を図りながら、外国人観光客の誘致に努める。

区議会大田区民の会 西村 健志郎

**「羽田蒲田の国際化と区の使命」**  
何が出来るといえるのか。具体的機能設計と手段を伺う。例えば、呑川/環八/JR/京急に囲まれた蒲田エリアを非課税特区とし、使用料・税の最も安い国際空港都市を構築する。蒲田での搭乗手続き、荷物の自動搬送手段を中小企業の手で造る。低騒音・低燃費の小型航空機により、地方空港・都市浮揚に貢献するハブ空港を、区民の住環境と権利を守りながら、けん引出来るのは、大田区自身のみ、と考えるが、いかがか。

質問の趣旨を把握できていないが、国や企業の動きは注視している。

**「保育園の待機解消対策」**  
おた未来プラン10年の「ミスマッチ、年齢・地域的な偏在を、スクール（保育）バス等で解消せよ。」一人ひとりのニーズを的確に把握していきたい。送迎バスにつき、就労条件等により登園・降園時刻が異なり、安全面からも難しい。

大田区議会公明党 岡元 由美

高齢者の住宅確保支援策「ワンシニア」及び高齢者アパート

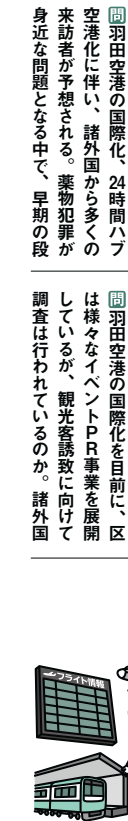
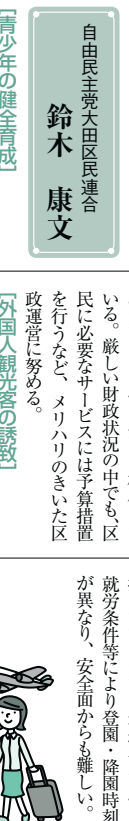
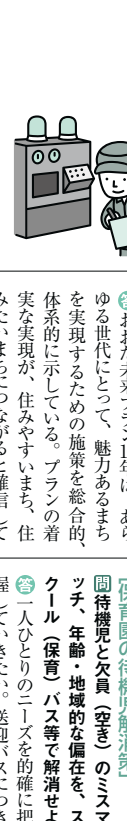
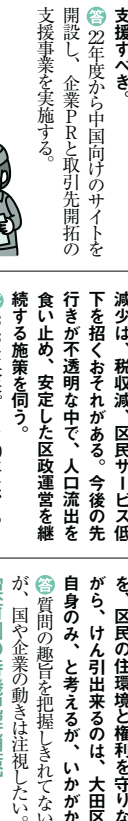
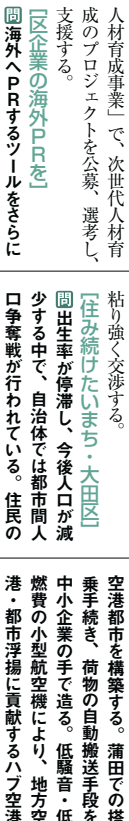
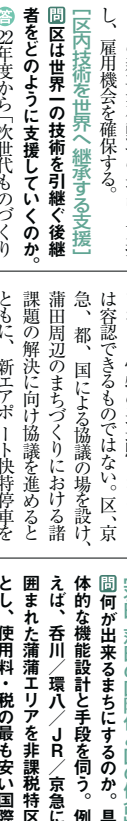
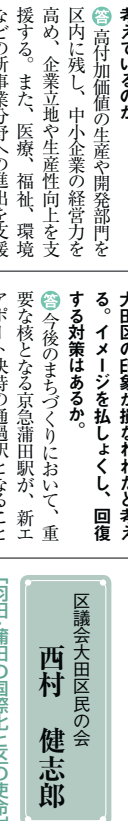
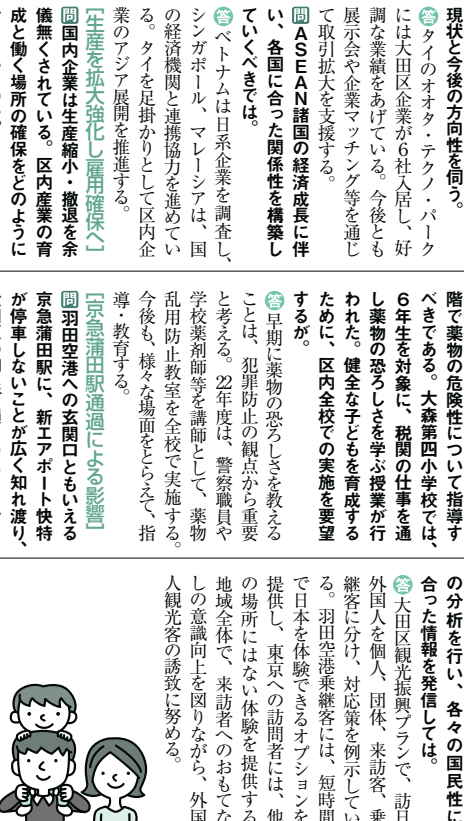
大田区議会公明党 岸田 哲治

大田区議会公明党 鈴木 康文

大田区議会公明党 西村 健志郎

大田区議会公明党 丸山 かよ

大田区議会公明党 岡元 由美





ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

### 自由民主党大田区民連合 押見 隆太

- 羽田港 蒲田駅シャトルバス  
シャトルバス運行をバス事業者に提案後、進展はあったか。  
バス事業者は、羽田空港の国際化にあわせてシャトルバス運行を計画している。
- 羽田 大田運行の現況について  
区は、直行便に関して、国やJAL、ANAに要望している。その後の進展具合を聞く。
- 国土交通省から、羽田空港増枠の段階において、就航先の有力候補として検討する話があった。5月17日の国土交通省成長戦略会議では、3万回発着枠について国際線配分の考えをまとめており、大連との就航実現に期待している。
- 大連市のある遼寧省と友好都市関係を結んでいる神奈川県と協力し、直行便のつくり産産を支援している。
- 国の事業で、各地の企業が連携して行う海外市場開拓など、多様な機会をとらえ、自治体間の協力も活用し、区のものづくりの海外展開を支援する。
- 早急な待機児童解消を  
22年秋に、千鳥幼稚園の跡地に開設する保育園の名称は、地域や事業者から要望があるのでは。
- 地域からは「千鳥」という名称を保育園名にのり要望があり、保育園運営事業者と調整した結果、平成23年4月から名称を「千鳥さくら保育園」とする予定である。
- 田園都市富士見会館1階を保育園として活用するなど、待機児童解消に向けたスピード感のある行政運営を求めている。
- 日照確保が困難なことや、区が改修を行った場合は安心ことから、補助対象外となることから、さらなる検討が必要と考える。引き続き急な保育定員増を目指し全力で取り組む。
- 小学校に空き教室をつくり、待機児童対策として活用しては、区内には空き教室が少なく、今後の見通しも不透明であるため、極めて困難であると考えている。

### 35歳世代について

30から34歳の低所得層が急速に進んでいる現状を把握しているか。  
日本社会が大きな役割を担う35歳世代が、雇用の不安定等を受け、不安を抱えていると報じられている。労働力の主力となる世代が希望を持っていくようにしていくことが大切であると認識している。

### 大田区議会議長 岸田 正

#### 大田区議会議長 岸田 正

大田区では、住環境向上のため、どのような施策を講じているのか。  
地区計画等、地域の自主的な街づくり支援・誘導を行っている。  
地区計画の法令上の位置付けと制度の趣旨は、  
地区計画は都市計画法に基づき、地区の特性に応じたまちづくりのため設けられたものである。  
地区計画のうち、建築物に関する制限に条理化がされていない項目に対する区の対応は、  
ルールに合わない建築物が施工された場合は、改善の指導勧告をしている。  
地区計画が決定、変更された際、関係機関への周知方法や、指定確認検査機関等に対し、公布日直後に情報提供している。  
地区計画内の建築物の制限に関する条例の違反への指導は、  
総合的に判断し是正指導を行う。  
地域から地区計画検討の申出があった場合の区の取組みを伺う。  
推進要綱に基づき専門家を派遣し、情報提供やアドバイスを行う。  
建築物に関し、住民との協議中でも工事着手が可能だが、仕組み変更や運用等で解決できないか。  
規制することはできないが、近隣住民と事業者との調整を図る。  
業者への事前指導時に渡す資料に、工事施工時に対応すべき事項の資料を同封したかどうか。

資料同封を検討する。  
中高層建築物は、紛争予防と調整に関する条例がある。それ以外の建築物にないのはなぜか。  
中高層建築物は、日照や環境に対する影響が大きく、建築競争の可能性が高いため条例を制定している。  
業者の住民等に対する説明義務をどのように指導しているのか。  
建築計画の配置図、立面図、断面図及び近隣への日照の影響を記載した近隣状況図を提示して説明を行うよう指導している。また説明報告書の提出を義務付けている。  
原則として住民説明会を開催させるべき。  
一概に説明会の開催が適当との判断はできない。  
地区計画の日照の影響がわかる資料を別途配布するよう指導している。  
必要があった場合は、できる限り説明するよう指導している。

### 区内中小企業対策について

日本共産党大田区議員 藤原 幸雄

区内中小企業対策について  
区内中小企業・町工場の仕事確保、単価の引上げ、公平な取引を国や大企業に直接働きかけるべき。  
国に対し産業集積の維持や競争力強化を要望している。大企業には、都中小企業振興公社と協力し、下請取引適正化関係法令の遵守や区内上場企業と中小企業との連携強化等を呼びかけている。今後も必要に応じて政策的な要請を行う。  
中小企業憲章の制定は、自治体の支援、大企業への規制に役立つものである。積極的に国に対して制定を求めたい。  
制定の動きや国の支援策活用を図りつつ、区内の中小企業支援を着実に実施する。  
年間9億円の予算で、売上が激減した工場1500社に、固定費月5万円の補助が可能である。

倒産・廃業させないため、区独自の「固定費制度」で支援すべき。  
固定費補助は、計画していない融資あつせん制度による金融支援やビジネスサポートによる経営相談等の活用による支援を継続する。  
関係者育成を計画的に行うべき。  
人材育成事業の強化、産業振興協会のセミナー等により、後継者育成を支援し、日本経済を守る生命線であり、「ものづくり経営革新緊急支援事業」を早期に拡充し実施すべき。  
緊急経済対策事業として実施したもので、22年度の実施計画はない。助成金を交付して間もないことから、その効果を見ることは難しい。他の経営支援施策と連携したフォローアップを進める。  
非課税世帯に火災警報器設置を  
非課税高齢者世帯等の火災警報器設置無料支給事業を継続し、すべての非課税対象者が設置するまで継続すべき。  
消防法の改正に伴って22年3月末までに各自が設置することが義務付けられており、期限を定めて助成した。今後は、基本的には区民の負担による設置を促している。  
高層ビルの見守り制度の拡充  
監視カメラ設置補助が効果的と考える。  
特定の事業者がかかる仕組みではなく、各地域に合った方法で様々な関係機関と連携し、ネットワークが機能する支援が効果的と考える。

発展していくべきである。21年12月に国交省、東京都、大田区、品川区、神奈川県、横浜市、川崎市で構成する「羽田空港臨空都市懇談会」が開催され意見交換を行った。今後も積極的に参加する。  
国際化に向けた交通の早期整備  
羽田空港臨空都市につながる幹線道路鉄道網の包括的な整備計画について考えている。  
羽田空港の国際化を契機としてまちづくりを進める中で、空港跡地利用の具体的な姿と行政需要が明らかでない現時点では、空港関係の新規導入は難しいと考える。  
区として、区財源確保の観点から課税自主権に基づいた法定外税の創設は望ましいと考える。政策や財源の税目に着目しながら研究する。  
羽田空港国際化に伴う治安対策  
国際化にあたり、新たな魅力が創出される一方、不法入国、不法滞在件数は増加傾向にあり、区内の治安対策が懸念される。  
青色回転灯装備車両「青パト」による巡回警備や地域の安全・安心パトロール活動支援、街頭防犯カメラの整備助成を行っている。  
羽田空港港が生まれ変わり、多くの外国人が訪れるのは良いことであるが、入国管理署、警察機関等と密接な治安対策が必要である。  
空港内では、10月以降の国際線離発着増加に伴い、生体認識を導入し、対テロ装備資機材の追加配備など警備を強化するとの情報を得ている。区としても、地域の犯罪防止力を高める一方、区内警察と連携して防犯啓発活動を行い、安全・安心のまちづくりを進める。  
外国人にやさしい観光都市  
本庁舎のサイン看板の英語表記は、来庁する外国人に非常にわかりやすい。今後、多くの外国人が区を訪れるにあたり、外国人にやさしい観光都市の実現に向けた展望を伺う。  
大田区ならではの観光資源創出すべての来訪者にとっての快適な観光が大切であると考え、外国の人向けには、観光マップやホームページ、観光案内サインの多言語化、「来」る大田区大使による区内国際交流の気運醸成、区内宿泊

さい観光都市の実現に向けた展望を伺う。  
大田区ならではの観光資源創出すべての来訪者にとっての快適な観光が大切であると考え、外国の人向けには、観光マップやホームページ、観光案内サインの多言語化、「来」る大田区大使による区内国際交流の気運醸成、区内宿泊施設や飲食店等の受入準備を進めている。地域全体が「おもてなしの心」を持つことが基本とし、観光振興を図っていく。  
区長あいさつ(抜粋)

鳩山総理の突然の辞任など国内外の政治情勢は、混沌の様相を呈しておりますが、私は国等の動向に左右されることなく全力を出して区政運営に取組んでまいります。  
京浜急行電鉄株式会社の新ダイヤ実施の5月16日以降、国や都に働きかけを行い、5月26日には私と区議会議長、区民協議会会長の三者で、国土交通省に申入れを行いました。今後は、中野区として緊急の四者で協議し、エアー快特の京急蒲田駅停車への働きかけや、魅力ある京急蒲田づくり等を話し合っています。  
平和市長会議加盟  
平和を希求する取組みとその実現を対外的に発信する考えから、「平和市長会議」に、6月1日付けで加盟いたしました。  
国際化元年・国際都市事業  
待望の羽田空港の再拡張・国際化を目前に控え、D滑走路及び新国際線地区の供用は10月21日から、国際定期便の就航は10月31日から開始されます。本年を区の「国際化元年」とし、シンポジウム等の国際都市事業を進め、区の魅力を内外に積極的にアピールします。  
5回大田ドリム債の発行  
国際都市事業の位置付けとして、大田ドリム債を発行し、総合体育館の建設経費の一部に活用いたします。

依然厳しい区内産業と個人消費に活力を与えるため、プレミアム付区内共通商品券第3弾を発行します。今回は国際都市事業の周知とともに区内経済の活性化を図ります。  
災害時要援護者名簿の作成  
区は、災害発生時に支援が必要な高齢者や障がい者の方々のため、災害時要援護者名簿を作成しました。関係機関で共有し、災害発生時の支援に活用してまいります。  
特別出張所の改築  
鶴の木・大森東・六郷特別出張所の改築により防災機能の強化と地域力の拠点の場として、区の保育所入所待機児対策  
平成21年4月の待機児数314名に対し、区は待機児解消対策本部を設置し、417名の定員増を行いました。平成22年度の保育所入所希望者は増加の一途をたどり、3月の待機児数402名に対し、当初計画の280名を上回る410名の定員増に向け取り組んでまいります。

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/

意見が異なった議案に対する各会派の態度

Table with columns for item names and party names (e.g., 大田区議会公明党, 日本共産党大田区議団). Includes a legend for赞成 (○) and 反対 (×).



第2回 定例会で決まった議案

区長提出議案
平成22年度補正予算
(一般会計(第1次))
(8億5,034万8千円を増額する)
大田区多文化共生推進センター
大田区多文化共生推進センター
大田区多文化共生推進センター
大田区多文化共生推進センター

条例の一部改正
職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例
(育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴い、3歳に満たない子の育児を行う職員の超過勤務の制限について定めるほか、規定を整備する。)

科医及び学校業判師の公務災害補償に関する条例
(公務災害補償の補償基礎額を改定する)
大田区特別出張所設置条例
(給与所得者の扶養親族申告書の提出等について定め、公的年金からの特別徴収制度を創設し、特別区(たばこ)税の税率の引上げを行うほか、規定を整備する。)

大田区特別出張所設置条例
(給与所得者の扶養親族申告書の提出等について定め、公的年金からの特別徴収制度を創設し、特別区(たばこ)税の税率の引上げを行うほか、規定を整備する。)

ホームページのご案内
ホームページで議会の新着情報や議員名簿、会議日程などをお知らせしています。ぜひご利用ください。

【人権擁護委員候補者の推薦】
日野 春代(再任)

【報告】
予算の繰越し
平成21年度大田区繰越明許費繰越計算書
平成21年度大田区繰越明許費繰越計算書

主な掲載内容
● 議員紹介
● 本会議の結果
● 議会中継
● 決議・意見書
● 区議会だより

【こども文教委員会】
朝鮮高校を無償化の対象にすることを求める陳情(継続)
馬込地区に児童遊園用地を購入するよう要請する陳情(不採択)

【総務財政委員会】
永住外国人の地方参政権の早期法制化を求める陳情(継続)
旧日本軍「慰安婦」問題の解決に関する陳情(継続)

第2回 定例会の請願・陳情の結果
今定例会で新規に提出されたもの及び継続審査していたもので、今回採決したものの結果は次のとおりです。

第3回定例会の予定
16日 本会議第1日
17日 本会議第2日
21日 決算特別委員会
22日 常任委員会
24日 特別運営委員会
27日 議会運営委員会
29日 本会議第3日
30日 決算特別委員会



## 開発・観光対策特別委員会

本委員会は、地域特性を活かしたまちづくりが観光政策と融合し、それが区民福祉の向上、区内経済の活性化等いかにしてつなげられるかを重要な視点ととらえ、調査研究を行ってきました。

蒲田駅周辺地区は、区内外の交通結節点として、さらににぎわいの拠点、多文化交流の拠点として、一層の整備・発展が望まれています。このような状況で、22年3月、区は「蒲田駅周辺地区グランドデザイン(案)」を策定しました。この実現には、地域住民の高齢化、西口の学生数増大といった状況変化を踏まえ、対象地域2万2千人もの住民をいかに巻き込むかがカギとなり、パイプ役としてわれわれ委員も積極的に関与していく必要があります。

大森駅周辺地区も、まちの再整備方針と実行性を考えるべき時期にさしかかっています。区はグランドデザイン策



蒲田駅周辺地区グランドデザイン(案)の対象地区になっているJR蒲田駅付近

定に着手していますが、やはり地域住民の意見反映が課題となっています。蒲田駅周辺地区との役割の明確化、馬込地区や臨海方面への交通結節機能、さらに文化、歴史、観光資源を十分反映したグランドデザインになるよう、われわれ委員も提言していく必要があります。

観光政策では、10月の羽田空港国際化を見据え、21年から国際化記念事業を区は実施しています。22年9月には、記念イベントの開催も予定されています。これを観光大田の新たなスタートとして、呑川の緑道や湾岸地域の整備・開発などの観光資源をいかにして内外へアピールできるものへと高めていくのか、観光施策の展開を区とともに、われわれ委員も考えていかなければなりません。

「おおた未来プラン10年」では、まちづくりのキーワードとして「地域力」を掲げています。地域住民自身の実行が良好な結果につながるとしており、蒲田・大森のまちづくりや観光政策の推進に際しても、区は「地域力」を引き出すため、意見交換会、ワークショップ等を実施しています。しかしながら、現状ではその達成は十分とは言えず、新たな手法の構築も求められており、委員会としても継続して議論すべき事項と考えています。

## 交通問題調査特別委員会

本委員会は、京浜急行線連続立体交差事業の推進及び区民にとって安全で快適な交通体系の整備に向けて、調査研究を行ってきました。

大田区の交通問題の課題であった京浜急行線と主要幹線道路の踏切による慢性的な交通渋滞を解消するため、連続立体交差事業が行われ、平成22年5月16日には、上り線の運行が高架化されました。

平成22年4月下旬に京浜急行電鉄が区に通知してきたダイヤ改正は、「新エアポート快特」が京急蒲田駅を通過駅とする内容でした。26日と30日には、委員会を緊急に開催して、「新エアポート快特」が京急蒲田駅に停車することを求める申し入れ書を京浜急行電鉄に提出することを決定し、30日の委員会終了後に港区の京浜急行電鉄本社を訪れ、永井議長から申し入れ書を手渡しました。

しかし、京浜急行電鉄は5月7日に、ダイヤ改正を発表しました。これを受け、大田区議会は大田区、京急蒲田駅通過反対区民協議会と合同で、抗議声明を同日発表し、11日には、合同記者会見を開催し声明文を発表しました。12日には、委員会を緊急に開催し、議論を重ね、15日の三者主催の京急蒲田駅通過反対区民大会に主催者側として参加しました。今後も、新エアポート



5月16日に上り線が高架化した京浜急行空港線

快特を京急蒲田駅に停車させるよう強く求め、関係機関に働きかけていきます。コミュニティバスについては、区は矢口地域で、試行運行の時間やコース等を決定しました。また、愛称等を公募し、アザラシの「たまちゃんバス」と決めて、試行運行が平成21年10月11日から開始されましたが、輸送実績は、伸び悩んでいる状況が続いています。

委員会では、アンケートで強く要望されている運行時間帯の拡大や、運賃の値下げ等を検討するよう、区に要望しました。

快適な交通環境の整備においては、安全で活気のあるまちづくりが基本であり、長期的に推進するために、さらなる調査研究を行ってまいります。

### 特別委員会 中間報告 (要旨)

平成22年第2回臨時会で報告された内容の要旨です。報告書は区議会ホームページで公開しています。

区議会ホームページアドレス  
<http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

## 羽田空港対策特別委員会

本委員会は、空港と地域とが調和・共生することのできるまちづくりを目指し、調査研究を行ってまいりました。

羽田空港は、再拡張事業によるD滑走路の供用開始に伴い、その機能が大きく拡充されます。このことは、空港利用者の利便性が図られ、区の発展への大きな契機となる一方、航空機騒音や交通環境の悪化など、周辺環境へのマイナス面の影響も大いに懸念されます。

区は、国の動向を注意深く見守りつつ、課題解決に向け、国や東京都、関係機関等に対して積極的に働きかけていくことが必要です。

A滑走路北側離陸左旋回については、80デシベル以上の騒音値が散見されるなど、看過しがたい状況が続いています。先般、再拡張後の左旋回は1日5便以下から3便以下とする国の考え方が示されました。これについては委員間でも意見

が分かれておりますが、今後も国に対して、左旋回の早期廃止を強く求めていく必要があります。また、横田空域の一部削減に伴う運用で、1日あたり約100機前後の飛行機が大田区の上空を通過することになり、これまで騒音被害が少ないと言われていた地域にも、新たに騒音の影響が出ています。委員会としては、今後も区民の意見や要望等の把握と騒音測定などによる現状把握に努めていかなければなりません。

空港跡地の取得については、国と都の間で、都が一括して取得することを前提とする確認書が取り交わされているにもかかわらず、その後、両者間では具体的な協議が行われていないため、早期に解決することが求められます。跡地利用に関して、区は、平成21年から「羽田空港跡地整備計画」の策定に着手し、空港に隣接するまちを活かし、魅力あふれる都市空間として、大田区全体の発展を目指しています。

本委員会は、空港と地域とが調和・共生するまちづくりを実現するため、重大かつ緊急な対応が求められる多岐の課題に対し、今後も国や都に対して地元住民の思いを代弁し、さらなる調査研究を行ってまいります。



建設中の羽田空港D滑走路(写真手前)

## 防災・安全対策特別委員会

本委員会は、大地震や台風・豪雨などの自然災害、さらには多様化・複雑化する犯罪から区民の生命・財産を守り、安全・安心に暮らせるまちづくりを実現するため、調査研究を行ってきました。

災害発生時に自ら避難することが難しいと予想される高齢者や障がい者については、平時から公的機関や自治会・町会、民生・児童委員などが、これら要援護者の情報を共有することが重要です。このたび災害時要援護者名簿が完成し、22年7月以降、情報の共有化に同意していただいた方の名簿を、公的機関や関係者に配布すると区から報告を受けました。

この名簿を有効に活用し、いつ起こるかわからない災害に備えることが求められています。

21年4月、メキシコで発生した豚に由来する新型コロナウイルスに対して、区は新聞折り込みによるチラシやホームページなどで手洗いやうがい等の励行を啓発するとともに、発熱相談センターを開設し病気に対する相談や医療情報の提供などを行い、区民の不安解消に努めました。

当委員会でも患者の発生状況や関係機関の取組状況などを把握・注視するとともに、マスクや防護

服などの備蓄状況を確認するため、21年11月には京浜島地区備蓄倉庫への視察を行いました。

現在、新規患者の発生は収束に向かっていますが、強毒型といわれている鳥由来の新型コロナウイルスに対応するためには、これまでの経験を踏まえて、り患者や死者などの被害が最小となるよう、万全の態勢で備えなければなりません。

災害時の被害を最小限に抑えるため、区民には自分の身は自分で守る、地域には自分たちのまちは自分たちで守るという、自助・共助の意識の醸成が求められるとともに、区は様々な施策を講じてそれを支援し、防災・防犯活動力を高めていかなければなりません。

本委員会は、今後も安全・安心のまちづくりへの取組みに対し多様な視点から調査研究を行ってまいります。



5月15日に多摩川丸子橋緑地で実施した水防訓練

ご利用ください 会議録検索システム 区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。大田区議会ホームページアドレス <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

# 議場の略図と議席

平成22年7月1日現在

|           |             |                 |
|-----------|-------------|-----------------|
| <b>自民</b> | 自由民主党大田区民連合 | ☎5744-1480・1469 |
| <b>公明</b> | 大田区議会公明党    | ☎5744-1488      |
| <b>共産</b> | 日本共産党大田区議団  | ☎5744-1477      |
| <b>民主</b> | 大田区議会民主党    | ☎5744-1475      |
| <b>緑</b>  | 大田区議会緑の党    | ☎5744-1479      |

|             |             |            |
|-------------|-------------|------------|
| <b>区民の会</b> | 区議会大田区民の会   | ☎5744-1476 |
| <b>自民大田</b> | 自由民主党大田区議会  | ☎5744-1617 |
| <b>無所属</b>  | 無所属の会       | ☎5744-1478 |
| <b>日本</b>   | たちあがれ日本     | ☎5744-1672 |
| <b>ネット</b>  | 大田生活者ネットワーク | ☎5744-1673 |

|                                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
|------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 傍聴席 (階上)                           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 1                                  | 2  | 3  | 4  | 5  | 19 | 20 | 21 | 22 | 31 | 32 | 33 | 49 | 50 |  |
| 6                                  | 7  | 8  | 9  | 10 | 23 | 24 | 25 | 26 | 34 | 36 | 37 | 47 | 48 |  |
| 11                                 | 12 | 13 | 14 | 15 | 27 | 28 | 29 | 30 | 38 | 39 | 43 | 44 | 45 |  |
| 16                                 | 17 | 18 |    |    |    |    |    | 40 | 41 | 42 |    |    |    |  |
| 演壇<br>理事者席      議長席 副議長席      理事者席 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 第10回 平和祈念コンサート

“響け 平和の思い 世界へ”

**主催** 大田区議会全議員による「平和祈念コンサート実行委員会」

**会場** 大田区民ホール・アプリコ 大ホール  
(JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩3分)

**入場料** S席3,000円、A席2,000円 (全席指定)

**出演** 小山内美江子  
アグネス・チャン  
クラウン少女合唱団  
クラウンハミングバード

**問合せ先** 実行委員会事務局 ☎5744-1640

**8月15日 (日)**  
13:00開演 (12:30開場)

**チケット販売** 下記窓口にて販売中 (電話予約なし)

|              |            |
|--------------|------------|
| 大田区民ホール・アプリコ | ☎5744-1600 |
| 大田区民プラザ      | ☎3750-1611 |
| 大田文化の森       | ☎3772-0700 |

◇車いす席あり (問合せ先へ電話、介添人無料)  
◇無料保育あり (8月6日 (金) までにNPO法人ネットワークBear ☎・FAX3773-0881へ予約)